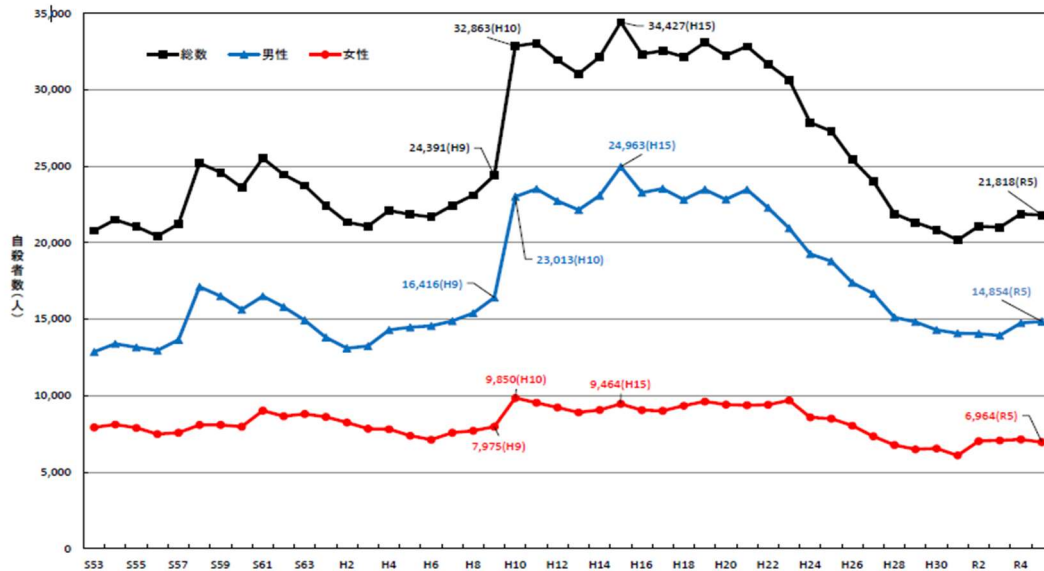


1 全国の動向

○暫定数値で、令和5年の自殺者数は21,818人で前年に比べ63人(2.8%)減。

○男女別で見ると、男性は108人増、女性は171人減。

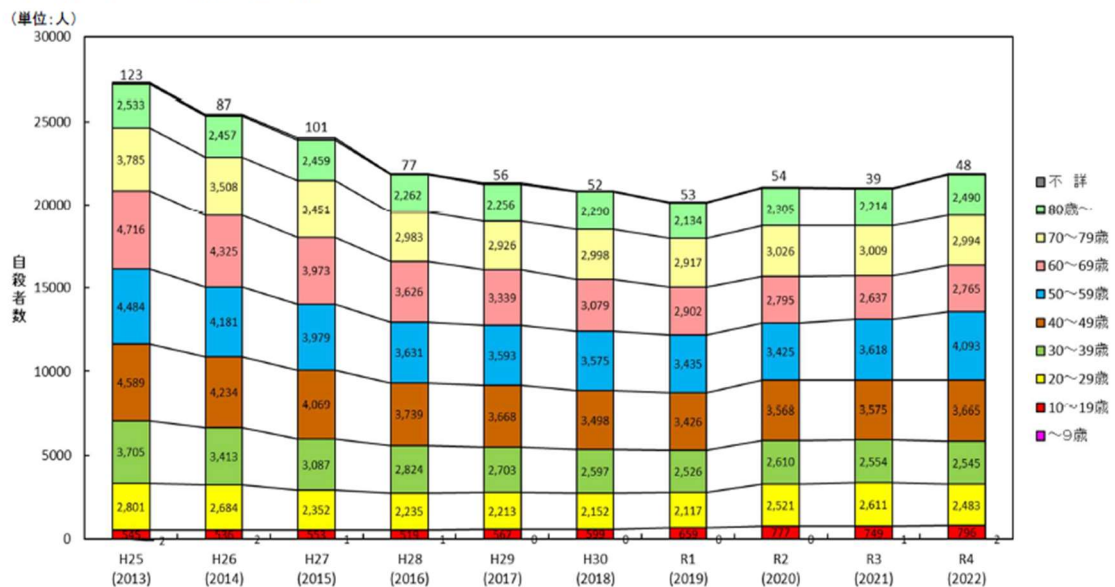


警察庁「自殺統計」より厚生労働省自殺対策推進室作成。
注) 令和5年は暫定値。

年齢階級別自殺者数の年次推移

○令和4年は令和3年と比較して、20歳代、30歳代及び70歳代以外の各年齢階級で増加した。

○増加した年齢階級の中では、50歳代が最も大きく増加し、475人の増加となった。一方、減少した年齢階級の中では、20歳代が最も大きく減少し、128人の減少となった。

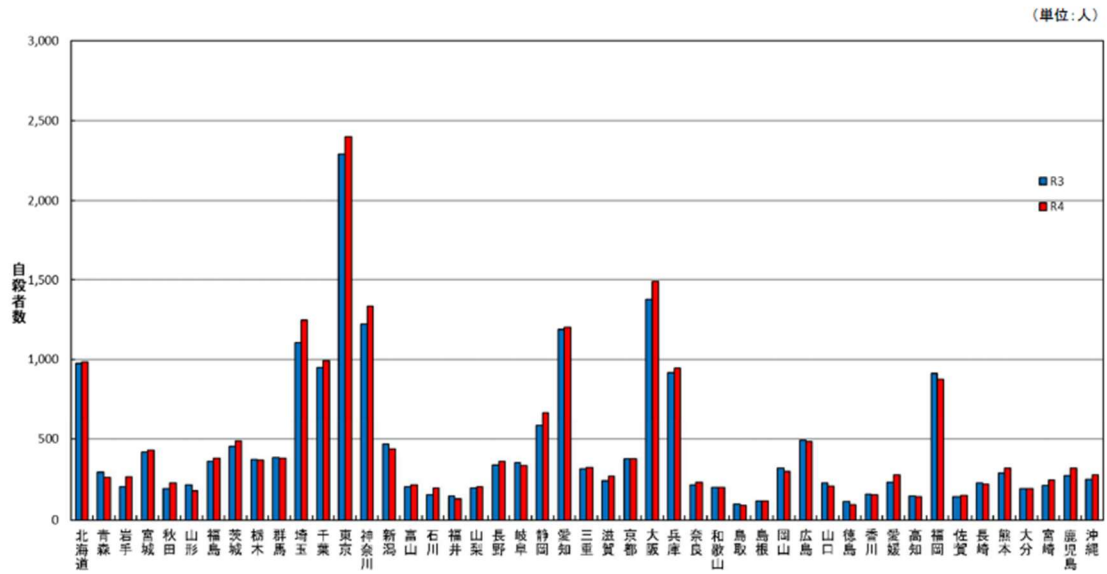


資料:警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

令和3年及び令和4年における都道府県別（発生地）の年間自殺者数

○令和4年は令和3年と比較して、19府県で減少、28都道府県で増加となった。

○減少幅が最も大きかったのは山形県で38人、次いで福岡県で35人、青森県で34人の減少となった。

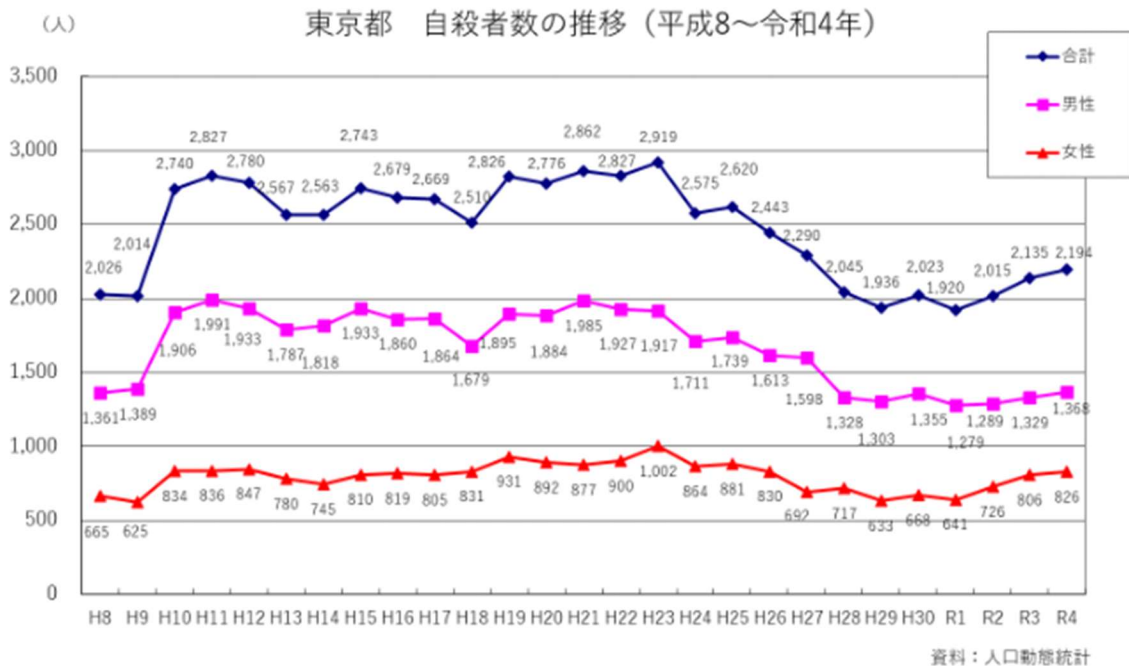


注:本統計は、自殺の発生地における計上であり、自殺者の居住地とは異なる。

資料:警察庁自殺統計原票データより厚生労働省作成

2 東京都の動向

東京都における自殺の現状



3 全国と東京都の年齢層の比較

自殺者の年齢構成（令和4年、全国・東京都）

